

わたくしたちの健康

加齢性(老人性)難聴

朝霞地区医師会 田部 哲也

☎464-4666

老化現象による聞こえの低下を
加齢性難聴といいます。聞こえの
老化は40歳頃から始まり、ゆっく
り進行します。実際には60歳代で
「聞こえの低下」を意識することが
多いようです。難聴の程度には個
人差があり80歳を過ぎててもよく聞
こえる人もいます。

〈聞こえの仕組み〉

音(空気の振動)は、耳の穴を
通って鼓膜を振動させます。鼓膜
の振動は、その奥にある耳小骨を
經由して蝸牛に伝わります。蝸牛
では振動を電気信号に変換し、電
気信号は聴神経を經由して脳に伝
わります。脳では信号を瞬時に処
理解析して、音や言葉を理解します。

〈原因〉

蝸牛の老化が主原因です。蝸牛
には、表面に毛の生えた有毛細胞
が並んでおり、この毛が音の振動
を感じます。老化で毛が脱落し
たり、細胞自体がなくなると、振
動を電気信号に変換できなくなり
ます。他には、蝸牛から脳への神
経経路や脳自体の老化も関連しま
す。これらの原因が組合わさって
難聴が発生します。

〈症状〉

初期には高音域から悪くなるた
め、ピーという電子音のようなも
のが聞きづらくなります。日常会

話は大丈夫で、耳鳴りだけが症状
という人もいます。低音域へと難
聴が進むと、普通の声や物音が聞
こえにくくなり、やがて大きな声
でないとい聞こえないという状態に
なります。両耳とも同じように進
行するのが特徴です。

また、単に聞こえないだけでな
く、大きな音が響いて不快に感じ
る、声は聞こえるが何を言ってい
るか分からない(聞き取り能力の低
下)といったことがよくみられます。
50〜60歳頃から始まり、これも加
齢性難聴の特徴です。「力行、サ行、
ハ行」の間違いがよく見られます
(「サトウ(佐藤)」と「カトウ(加
藤)」、「シチジ(7時)」と「イチジ
(1時)」など)。

難聴を放置すると日常生活で
種々の支障、例えば「テレビの音
量を大きくするため人と一緒に楽
しめない」、「会議で重要な話を聞き
逃す」、「病院などで名前を呼ばれて
も気付かない」、「警告音が聞こえず
事故に遭う」などが生じます。また、
耳から入る情報や刺激が少なくな
ること、電話や人との会話さら
に家族と話すことすら面倒になり
引きこもってしまうこと等により、
認知症やうつ病につながる危険性
もあります。

〈検査・診断〉

最近聞こえが悪いかなと思っ
た、人から「聞こえが悪いのでは？」

と言われたら、放置せずに耳鼻科
を受診してください。診察して病
気(中耳炎、耳垢など)がないか
チェックします。検査は純音聴力
検査(低い音から高い音まで7種
の周波数で聴力を計測)を行います。
状況により語音明瞭度検査(聞き
取り能力の検査)を行います。

〈治療〉

加齢性難聴はもとに戻りません。
最も効果的な対処法は、補聴器で聴
力を補うことです。最近の補聴器
はデジタル技術の進歩により性能
が良くなっており、上手に使うと
日常の不便さをかなり解消できま
す。検査結果をもとに、どんな補
聴器が良いか、補聴器の利点と限
界など、耳鼻科で相談すること
をおすすめします。難聴の程度によっ
ては、身体障害者福祉法による補
聴器購入補助が行われています。

〈気遣い〉

高齢者と話すときは、以下の点に
気を遣ってください。「なるべく雑
音のない場所で」、「本人の注意を会
話に向けさせ」、「正面から目の高さ
で」、「ゆっくり・はっきり」と「や
や大きめの声で」、話してください。
また、聞き取れていない場合は別
の言い回しをして、理解できたこ
とを確認しつつ話を進めてくださ
い。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
7	3	朝霞	青柳診療所	内・消内	465-5077	新座	志木南口クリニック	内・外・小・消内・ 整外・肛・リハ	485-6788
	10	朝霞	ファミリータイズクリニック	小・アレ	458-5522	志木	田口皮膚科医院	皮	473-8889
	17	朝霞	栗原整形外科	外・整外・皮・ 内・リウ	463-2325	和光	佐々木眼科医院	眼	467-0071
	⑱	志木	西川医院	内・消内・外	471-0074	朝霞	北朝霞整形外科	整外・内・リウ・ リハ	474-7711
	24	朝霞	あさくらクリニック	内・消内・小	423-8470	新座	かきの木整形外科医院	整外	471-8800
	31	新座	せおクリニック	消内・内・外・肛	480-3905	和光	中川眼科	眼	465-1144

※当番医は変更になる場合
もあります。確認してから
お出かけください。